

生産性向上ガイドラインモデル事業 取組み報告

～24時間訪問介護看護事業所より～



業務改善新聞

1月・第28号



発行年月日
2020年1月1日

発行人
社会福祉法人
ライフ・タイム・
福島
業務改善委員会

新規利用者の
事務作業にかかる
手間の見直し
役割分担

対応出来る職員を増やして
受け入れ対応を
よりスピーディーに！



コミュニケーション
ツール「リンクイット」
の導入

写真撮影機能、
一斉送信機能などの
活用で訪問中の連絡を
スムーズに！



職員のあるべき姿や
課題を話し合うことから
スタート

業務を洗い出し！
カテゴリごとに整理！
時系列に整理！
現状の担い手を確認！



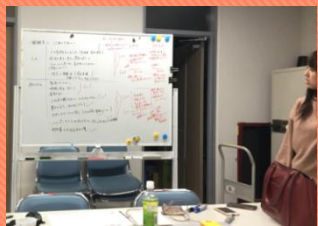
事業所内の
整理整頓

床置き段ボール箱はないか、
ボードに張り付けたメモは
カテゴリ分けされているか
など、自分達では気づかない
こともアドバイスがあり
改善しました



各役職の業務内容
に応じたスキルマッ
プの作成

管理者、リーダー、
サブリーダーのあるべき姿、
目標チャレンジシートに
活用できるような
中身を検討中！



週1回、野村総研の滝口さん、
中部産業連盟の
西川さんが来園し、
様々な業務の分析、
アドバイスを
して下さっています。

ロング・ライフ24時間訪問介護看護事業所は、福島県のパイロット事業とは別の、厚生労働省介護サービス生産性向上モデル事業の協力事業所として野村総合研究所、中部産業連盟の方々と様々な側面から生産性向上の取組みを行なっています。その途中経過取材してきましたので、お伝えします\(^o^)/

委員会からの お知らせ

先月のサンキューカード枚数

- 松川 . . . 64枚
- フクチャンち . . . 4枚
- 吉井田 . . . 42枚

たくさんの「ありがとう」
をありがとうございます😊

1月25日以降、
共有フォルダを
整理します。不要なファイルは
削除をお願いいたします。

「99%の人がしていない、
たった1%の
リーダーのコツ」より

「感情を添える」



リーダーとして、人に動いてもらう時に気を付けることは、感情に訴える事は非常に有効である一方、その前提として論理的な理屈や客観的根拠も持つておく必要があるという点です。客観的に状に訴える事が必要だと判断した場合は、注意深く周到に準備したうえで、感情を添えたコミュニケーションを取るようにしてください。

今月の!ちょっといい言葉

状況? 何が状況だ。俺が状況を作るのだ。
環境? 環境がどうしたというのだ。
環境とは自分で作り出すものではないか。



ナポレオン・ボナパルトの言葉

